

# 令和元年度 大阪府景観審議会

## 第1回景観ビジョン推進部会 会議要旨

住宅まちづくり部 建築指導室 建築企画課

開催日時：令和元年7月29日(月) 15:00～17:30

出席委員：加藤(晃)部会長、武田委員、加藤(精)専門委員

### ◆第1回ビュースポットおおさかの選定について

(事務局説明)

(委員)

事前に整理をしていただきましたけれども、まず、ただいまの説明に関する質問がございましたらお願いしたいと思います。

まず、資料4の調査シートは46件について全部やって頂いているということですね。同じ場所で委員の推薦が重複していてもそれは全部ひとつとしてカウントして、全部ここに掲載して頂いていると理解していいんですね。

(事務局)

はい。受付番号順で46件分並べています。

(委員)

審査の視点というのが、私ちゃんと理解できていなかったということが今確認できたんですけども、これはどういう意味ですかね。たとえば審査の視点1、2、3とあって、誰もが知る世界に誇れる大阪の景観と、一般にあまり知られていない個性豊かな大阪の景観というのは、もちろん相反するものだと思うので、これはどういう視点ですか。これをバランスよく選んでくださいという、そういう視点だと思えばよろしいですか。もちろんだれかには入りますよね。入らないとまずいという、そういう視点ですか。

(委員)

これは三つ同時に成立するということはあり得なくて、補完的な要項で、主旨としては、視点1で見ると中々埋もれてしまう。そういうものも選べるようにしておこうかという程度の記事じゃないでしょうか。だから、推薦する方が大演説を振って、これはこういう価値があるんだと、そういうことを言っていて、委員の方が「なるほどな」と納得すれば。そういうものってありますよね。あまり知られていなくても、「えっ」という発見されるようなもの。という主旨くらいで、いいんじゃないですか。ですから、あまり難しく考える必要はないんじゃないかと。さらっと考えて頂けたら。

それと、最初に出てきた能勢の地元市町村に聞くと、否定的な能勢の棚田。駐車場がないからやめてお

いてくれという意見なんですけれども、バスで行けばいいんじゃないかという事務局のフォローアップです。これは他の所の問題も同じようにあるんじゃないかと思います。駐車場がない所でも、地元自治体に聞いてみたら返答がなにもなかったというような。そういう場合はそのままスルっってしまうわけだから。ここで駐車場の有無をどれだけ重みづけして考えるかということに、議論としてはなるのではないかと思うんですけれども。ちゃんとした代替手法があればかまへんで、というスタンスで行きましょうという主旨でいいんですね。地元が反対することがあるんですね。観光公害だといって。そういうものが出てきても、それは知らないという府の立場で、事務局の立場でいいと。僕はそれでいいと思うんですよ。人が集まるようになったらそれなりの整備をすればいいわけで。ということで、この項目は無いものと、添え書きは無いものと考えていうことでいいんですね。

(委員)

ちょっと質問が。関連するんですが違うんですけれども、この中でひとつだけ **15** 番ですかね、整備状況が **NG** というものが混ざっておりまして、これも今のような考え方で、**NG** だけでも選定して良いという理解でよろしいですかね。

(委員)

事務局いかがですか。**NG** と書いたその主旨を。それを **OK** と直す条件闘争のようなことになるんですけれども。

(事務局)

**NG** といいますのが、どこで線を引くかということもあるんですけれども、この写真で見て頂いたときに左下の方に岩場がちょっと見えているんですけれども、実際ピンポイントでこの写真と同じように見える場所まで近づくと、川岸の岩場の所まで踏み入ってやっと見られるという状況にあるということから、一応 **NG** という形にはしています。もうちょっと手前の草が生い茂っている所の更に手前の土がある所までで留まって見ようと思えば、若干遠めにはなるが、見れなくはないです。それで、絶対に **NG** だと思っているわけではないが、注意喚起といいますか、そういった現地の状況であったと説明させて頂くためにも、このスポットについては一旦 **NG** という表記を入れさせて頂いたところです。

(委員)

公表する時にはビュースポットの位置表示の精度は今の地図程度ですか。つまり、この地図に青点で印がしてある。これは **20m** くらい誤差ありますよ。極端に言うと。

(事務局)

地図表記のこともあります。公表時には、川岸については十分注意してくださいとか、例えばそういう表現を入れるのもありではないかなと考えています。今決めている訳ではないんですけれども、「川の近くになりますのでご注意ください」ですとか、例えばそういう多少の注意喚起はいるのかなと。

(委員)

タイトルは「川向かいから見る梅田夜景」ですから、塚本のところは指示していない訳ですよ。10m引いても20m引いても同じですよ、見えるものは。この写真は割と望遠で撮っていますから、わっと見えますけど。淀川は800mありますから、そのうち10m、20m引いても見えるものは同じなんですよ。だから、川向かいから見る梅田夜景でタイトルはそのままにしておけば、今の位置表示もね、今の所でも、後ろから「いや実は白い所です」と言ったらそれで済むんちゃうの。というような無責任な言い方になりますか。行きたい人は川べりまで行って怪我してください。これかなり望遠で撮ってるんですよ。近すぎるよ。

(事務局)

望遠を使ってますね。

(委員)

すみません、私点数付けるときに沢山選んでしまったんですけども、淀川右岸から梅田を見ている写真というのが4枚か5枚くらいあってですね、その内これはどういう風に、今の先生のおっしゃると、何個かは同じ写真という風に取りれるようなものもなくはないと思いますし、いくつかは淀川右岸だけでも違う視点場だと捉えられるような物もあるような気も致しますし、最終的にはこれは人を表彰されるんではしたか。一人決めないといけないんですかね。ポイントさえ決めればいってことですかね。

(委員)

その辺の扱いを後で話が出るかと思いますが、事前にどうぞ説明してください。どういう取り扱いにしようかというのを。

まず、川向かいですから、北側の河川敷から見てのものが四点ありました。その四点いずれも梅田の超高層ビルを見るというものでしたね。そのうち3票入っているのがこれ(15番)が一番トップで代表されるものなんでしょうけれども、あと三点は紐づけしたらいいんじゃないかと。関連写真なり関連ポイントとして。

つまり、ビュースポットでもピンポイントのビュースポットもあれば、このように100mくらいの線状に広がるスポットもありだという考え方であれば、先ほどの四点、あと三点も同じ視点であるということで紐づけして資料として提供するような、そういう表現の仕方。この天満橋についても三点くらい同じようなものがございましたけれども、代表的なのをこれ三人の方がこの写真、ここが一番よかろうと、代表的なのが出ましたけれども、あと二点くらいあるのを、同じ場所であると、橋の上だと、しかも西を見ている橋の上だという視点から同じ扱いにするような紐づけをするというような。ということで、結局代表的なのを一つ選ぶというのが今日の仕事になるのかなと。

同じようなものが件数としては三、四件くらいあったんですね。資料を今日は後で説明頂けると思いますが。

(事務局)

天満橋で四つありましたし、淀川も少しづつ離れたビュースポットが四つほどありました。あとは竹内街道で、近い所からちょっと向きが違って別のものを見ているというのが二つありました。大阪城も違

う場所から見ているのが二つ出ていたかと思います。あとはあべのハルカスも別の場所、三カ所から見たものが出ていました。

(委員)

ハルカスの場合は対象は同じだけどビュースポットは全然違いますからね。違うものとして扱っていいんじゃないかな。

(事務局)

あべのハルカスを見る別のスポットというような紹介の仕方もできるのかなと考えております。

(委員)

優先的に言うと、投票された方が多いものがまず代表的に選定されて、次に似たようなものを紐づけるかどうかというのを議論してやらせて頂いて、二段階目の選定をし、最終的に残ったものからいくつかをプラスして入れるというやり方で行きましょう。

ということでこの表でいきますと、まず複数の委員の方がいいんじゃないのという。僕ね、この **140** 件くらいあって **10** 件しか選ばせてもらえないというのはたぶん皆さん大変苦労されたんじゃないかと思うんですよ。その分非常に思い入れがあるものを皆さん選んでいただいたという視点に立てば **46** 点全部入れてもいいんじゃないかという気がしないでもないんですが、冒頭事務局の方から **20** 件で、プラス入れて **30** 件くらいまでという話があったので、今日の所は **20~30** の間をどこで押さえるかということをし細かく見ていきたいと思います。

まず最初に複数の方、つまり **2** 票以上獲得した件数が **18** 件、**18** ビュースポットございます。これはすべて当選ということでしょうか。よろしゅうございますか。

どうぞ、選定の視点、4つの視点から齟齬が生じるようなものがあるかということなんですが。

**18** 件まで行くと、**A** 委員はひとつも入れていないですね。

(委員)

あの、僕が **A** 委員です。ちょっとだけコメントさせて頂くとですね、先ほど先生もおっしゃったように **10** 点どうやって選ぼうかなと思ったんですけども、ひとつは今日も整理して頂いてましたけれども、前の時にビュースポットの選定なので、ただ視対象が美しいとか綺麗とかだけじゃなくて、視点場と視対象との関係性のあるものを選ぼうと思ったという視点で選んでいます。そう考えたときに、ちょっとだけ僕自身の審査で迷ったのは、環境景って言いますか、圍繞景って言いますか、眺望景になってないやつですよ。例えば棚田の景だとか、あと公園の景だとかあったかと思いますが、それは基本的にはその環境からその環境のことを見ている内々景観ですよ。そのことをビュースポットと呼んでいいのか迷いまして、これは僕の審査の中では外したという経緯にしました。すみません、僕の審査の経緯だけなのでどうでもいいので、この選定されたものがどうということではないんですけども、私が審査する時にはそうした方が良くかなと思って、あえて圍繞景、環境景みたいなものは外すことを心掛けました。それから、もうひとつ迷ったのは、春のとか、夜景とか、夕陽とかっていう時間限定景観っていうのをどうしたものかと思って、これは入れました。いいのかなと思って入れました。ただビュースポット

の選定の時に夕陽だけのビュースポット、あるんですかね。ちょっとえらい狭いなと思ったんですけども、これは別に視対象との関係は成立しているなと思ったので、これは対象には入れてみました。ということで、どうも景観をみるセンスがないようで、僕だけ皆さんと全然違うということがよくわかりました。

(委員)

今の先生のお話とちょっと共通するところがあるんですけども、私が確認したかったのは限られた資料の中で、視点場と視対象の両方が一定のレベルというか、整備状況であったり、一定の景観であるというのが大事かなというところで、両方にある程度バランスを見て選んだというところがあります。

その中で僕はハルカスは気になっていて、ハルカスは視対象としては非常に面白いんですけども、ハルカスに非常にフォーカシングされる所があつてですね。ビュースポットからハルカスを見るという言い方がいいのか、ハルカスを含めた都市景観の風景を見るという言い方が良いのか、ちょっとその辺りが若干引っかかった。夕日もそうです。夕日という言い方が良いのか、夕日も含めたその場所から見る、日中の風景も含めた景観が、として出すのが良いのか、ちょっと引っかかったところです。あとは先ほど事務局のご説明もありましたけれども、豊能町の棚田ですかね。あれは私も行ったことがあります、それこそ山の中に入らないとあの風景が見られないものですから、ちょっとそこにたどり着くのが少しひと手間かかるというか、少し一般的に、行けるんですけども、歩いて行かないといけない所があつて、ちょっとそこが引っかかったところで、逆に今回千早赤阪村の方ですかね、ここも知ってまして、こちらは比較的一般的によく行けるところにありますので、その辺りで多少点の付け方を調整したという所があります。実際はここはという所を全部並べると**40**点以上になっちゃいまして、絞り込まないといけないということで、そんなことをやりました。

(委員)

ビュースポットというのはどう考えるかというのは悩ましい所で、先ほどおっしゃった、いわゆる眺望景観的なものをもたらしてくれるのがビュースポットだという、確かに一般的な理念、概念があるとすると、圍繞景観をいくら立派なものにあつてもそれはビュースポット足りないんじゃないのというのはよく分かります。よく分かりますが、あまりそこらへんも難しく言わないで、概念規定せずに、圍繞景観であれ環境景観であれ眺望景観であれ、普通の人が「わあ、すごいな」と思えるようなものであれば。これは実際写真で見ているとそこら辺色々差が出てくるけれども、実際に行けば**360**度首が回るわけですから、環境景観として考えていいんじゃないかなという気がしますね。それと、〇〇さんのおっしゃる、僕はまさにハルカスばかりが焦点にあつて、ちょっとあまりよくない。むしろ上のビュースポットって言ったらハルカスの展望台の方が価値が高いよね。僕はそう入れたんですけどね。中々共感が得られない結果になってました。こちらの方(**44**番)は**3**票入ってますからね。

(委員)

この景観について言うと天王寺公園がかなり整備されたという今の状況がありますので、そういう意味では天王寺公園から見るハルカスを含めたああいふ景観というのはあるかもしれないと思っています。

(委員)

あのポイントが天王寺公園だと言えばいいわけですね。

(委員)

ええ。たぶんそうじゃないかと思うんですが。見た感じでは。それと、先ほど出た棚田もそうなんですけれども、ビリケン神社前から見た景観(47番)がありますね。あれ確かに非常に代表的な景観のひとつだと思うんですけれども、あそこものすごく人がウロウロするんですよ。そういう所の指定の仕方として、そういう場合に、これ悪くないと思うんですが、そういう場合にビュースポットの点を指定するというのが中々悩ましいかなと思って。ビリケン神社って皆さん礼拝に訪れる方もいらっしゃるって、けっこう人が多い所なんです。

(資料4 P29 確認)

(委員)

どれがビリケン神社？

(事務局)

写真の中には入ってないですね。(資料4 P28の)右下の位置図の中にスポットをざっくり落としていますが、そのすぐ横にビリケン神社と書いてあると思います。写真でいいますと(フレームの)本当にすぐ左のところにあります。

(委員)

こういう人気のない時は割に、日中では稀か。どういう時間帯にとられたか分からないですけども。

(委員)

ビリケン神社はこれ写ってるの？言い方として、タイトルの付け方として、ビリケン神社前というのが重要なのか。1m、2m移動したらあかんのかという。

(委員)

そういうことはないですね。

(委員)

ないですね。

(事務局)

一方で、通天閣が見えるところは沢山あるんですけども、ビリケン神社前ということで、その場所を1m、2mと特定するわけではないですが、10m近辺ということで、ここら辺やなということで。タイトルの付け方もまたご相談しなければいけないかなと思っています。ビリケン神社というところら辺やな

ということで、ここら辺から見たら通天閣、大阪のディープな姿が見えると。視点場もタイトルに入れた方が、行ってみようという動機がにじみ出てくるのではないかと思います。

(委員)

そのビュースポットの打ち出し方ですが、タイトルとしたら、「通天閣が見えるビリケン神社前」となるんですね。ビュースポットですからね。これ(47番)だったら「通天閣を見るビリケン神社前」ということになるわけですね。

(事務局)

確かにおっしゃるとおり、「通天閣が見えるビリケン神社前」という。正しくはそうですね。

(委員)

それならば変えるべきなのかどうかも含めて。

(委員)

言い方ですね。

(委員)

価値は通天閣が見えるということと、ミナミの新世界の派手な広告のようなものと、直線道路が走っている訳でしょ確か。勧業博覧会の時にできた直線道路でしょう。整備された。そういうものをセットで見せている。しかしそれはビリケン神社という、新世界のシンボルの後でできたんだから、それを繋げてそこをビュースポットにしたいという応募者の意図があるように思うんですよ。それをビュースポットとして売り出すときに、このタイトルそのまま使ったら通天閣が主役になってしまうわけで。ビュースポットとちゃうでと。「通天閣を眺めるビリケン神社周辺」とかね。まあ、というような。細かいこと言い出したらきりがいいね。最終的にタイトルをどうつけるかは整理しないといけない。ポイントとしてはいいでしょうこれは。

(委員)

タイトルの付け替えは私も賛成でして、並びで見てちょっと何かおかしいなと思うタイトルもありますので、先ほどの話で、応募者を選ぶのでなければタイトルもこちらで適切なものを付けなおすというのはやってもいい作業なのかなと。

(委員)

もうちょっと言うと写真を撮りなおしても良い所もあるかなと。ちょっとそれはやりすぎかもしれせんけど。

(事務局)

写真の方はこちらでいくつか撮っているものもあります。写真コンテストではなくて、ビュースポット

を選ぶということなので。特に代表的な写真についてはインスタグラムやHPで情報発信していく中で、見栄えのする、天気を含め。曇りの日で暗い写真もありますので。情報発信に向けて写真については選定していきたいと思っています。

先ほど〇〇委員からお話がありました、棚田が豊能町と千早赤阪村とで二つあるんですけども、場所的には違いますが、よく似た風景とは思うので、二つ選ぶのか、そこら辺りもご意見いただければと思います。

(委員)

二つ選ぶのか、代表させるのか、いやいや地域、北と南だとかね。見られたのは、どちらを見られましたか。

(委員)

大分昔なので臆気なんです。千早赤阪村の方は。豊能町の方は、同じ棚田とはいえ立地というか雰囲気がいぶ違うもんですから。くっきりはっきりしているのは千早赤阪村の方がしていますね。棚田といったときに。豊能町の方はもうちょっと周りが整備されているととてもいい所ですけどね。

(委員)

〇〇先生はご存知ですか。

(委員)

はい、私も学生の時に。でも、両方棚田百選の棚田ではないかなとは思うので、それなりに全国的にも知名度のある棚田なので、両方選ばれても不自然ではないと思います。

(委員)

どちらも百選に入っているわけですね。

(委員)

ちょっとすみません、千早赤阪村は必ず入っています。能勢の棚田も。

(事務局)

能勢の棚田は入っていますが高山は入っていなかったかと思えます。

(委員)

能勢の棚田の中でも、高山の棚田は別の所なんですね。

(事務局)

豊能町にも棚田があります。



(委員)

そうか、これは豊能町か。すみません、こちらは違いますね。

(委員)

まあでもこれは二票入っているわけですね。二人の方が選んで、一人が選んだだけじゃないと。

(委員)

能勢の棚田と勘違いしていました。

(委員)

僕も勘違いしていました。能勢の棚田だと思っていました。

(委員)

こんなに規模はないですけど、ぽつぽつと似たような風景はあるところですね。

(委員)

二票誰が入れたかですね。二票の方。〇〇先生ではない。

(委員)

私ではないです。

(委員)

〇〇さんでもない。

(委員)

ええ。

(委員)

じゃあ、一応かっこ書きで入れておきましょうか。当選に。最後数を調整する時に落とす候補でもあるというくらいにさせて頂きましようか。

(委員)

落とすとすれば高山を落とした方が地元的にも有利になると。

(事務局)

そうですね。駐車場がないという懸念もされています。

(委員)

落とすとしたらこちらですね。

(委員)

メジャーさとしてもこちらの方がたぶん釣り合いがいいのかなと。

(委員)

千早赤阪村の方は**4**票入っていますからね。落とすわけにいかない。

では、**18**件を当確としたときに、残りの中で似たようなものを整理して頂いて、**1**票の件数を減らしましょうか。代表候補を。

**1**票のものが何件になるんですかね。

(事務局)

全部で**28**件ここにあるんですけども、先ほどの淀川ですとか、天満橋ですとか、既に先ほど**2**票以上のところで選ばれたものと近いものということで、それを（ビュースポット候補の写真を貼ったホワイトボードから）外したいと思います。

(事務局作業)

(委員)

次の段階としては、基本的には**1**票ばかりですね。**1**票の中からあとを選ぶということになりますが、その**1**票の中からどういう選び方をするかということで、一案は、例えば大阪城のようなやつですと、右上の方に二つありますね。**1**票**1**点、つまり一人の方が**10**位で選ばれて、もう一つは**3**位で選ばれたわけですね。上位**10**、**9**、**8**で。これは別ビュースポットとして見るか、同じビュースポットとして見るか、というのを皆さんご意見を。

(委員)

大阪城のは、私の感覚的には明らかに別スポットで、**KKR**と谷町の交差点なので、ここまで一緒にしだしたら、視対象が一緒だと全部一緒だということになっちゃいますよね。もう一つ別の点で気になるのは**KKR**ホテルから見たというのも有りなのかとちょっとだけ気にはなっていて。

(委員)

**KKR**ホテルから見た、というのは今の右側ですね。

(委員)

景色としてはいいなと僕も思ったんですけど、視点場としての**KKR**ホテルというのを大々的に宣伝すること自体がなんとなく良いことなのかどうなのかと迷って入れなかったんですけども。

(委員)

それはね、思いますよ。

だから僕は大阪府庁のトイレを選んだんですけれどね。僕はアクセスできるのであれば公的な建物内でもありかなという気もしましたね。

(委員)

トイレもいいと思いましたし、あとあれも、阪急の梅田のスカイロビーもフリーアクセスなんですけれども、**KKR** ホテルから見たものは、フリーアクセスでこれが見えるのかどうかがちょっとわからなくて。

(事務局)

ホテルに確認したんですけれども、完全に一般の方が自由にそこに入るとするのは難しいです。ホテルを利用される方とか、宴会場を利用されている方は当然フリーなんだけれども、ということ言われています。

(委員)

選定の基準からしてどうですか。

(事務局)

元々はビュースポットについては有料でも構わないということにしていました。入場料を取るところでも構わないということで。であればこれもいいのかなと。

(委員)

有料でも **OK** と。20 万くらい払ってくださいと。

(事務局)

ホテルで泊まっていただくのもありだと思います。

(委員)

ということで、構わないという形にしましょうか。

(委員)

整理の仕方としては、視点場が同じ、すなわち非常に近傍であると。そこから見ている夜景であったり、普通の瞬間の昼間の景色であったり、あるいは少しフォーカシングしたものであったり、そういうものはある程度まとめても良いかなという気がします。同じ視対象でも視点場が違うというのは、別案扱いかなと。

(委員)

整理しましょうか。ハルカスを見ている視点場が違うという整理ですね。一緒にはできないと。それから大阪城もちがう。そうしますと、点数が高いものから順番にいくところなるということで並べて頂いて。

(事務局作業)

(委員)

点数順で見ると、左上(67番)は、2位に選んだ人がいる訳ですね。確かコンペで取った。

(委員)

あれはどうしたものかというか。ちょっと他が。トコトコダンダンというのは分かるんだけど。それを含めた風景としてみると、別に大したことない。

(委員)

とんぼりリバーウォークの方がよっぽどお金がかかっている。ビュースポットとして素晴らしいですよ。だからそういう檄を挟むのはここに出席したものの特権ということで、自由に行きましょうよ。今回はまず「これは」という落とす方で議論をしませんか。1票ですから。一人の方が4点とか3点という下の方で重みづけをして選んできたのが、普通はちょっと遠慮してもらおうとかいうことになるんですけども。上の方でも、ちょっとこれは偏ってるで、と、そういうのを指摘して頂いたら。言いにくいかもしれないですけども、それは選定委員ですから。僕もトコトコダンダンはコンペで選んで頑張ってるやっいて、いいと思うんですけども、コミュニティの評価が高いのは、あそこの集合住宅団地の中の一部で、国交省の事業でしたっけ。

(委員)

府の河川だと思います。

(委員)

なるほど。よくわかりました。確かに、事業手法としては良かったと思いますね。だけど出来上がったものは大阪市の河川に言わせたら、うちの方が立派やで、というてね。とんぼりリバーウォーク、あれはすごいお金かかってますからね。

じゃあ(ホワイトボードの)下の方、他にどうですか。私の提案として、4点以下はまず落とす候補じゃないかなと。つまり7位以下でお一方が選んでこられているものという観点から。

5点までを(ホワイトボードの)上に置いて、5点までの中で、一人1・2票、これは落とした方がいんちゃう、という案の候補を頂きましょうか。それが落ちてきたら下の方を上へ上げられると。

僕ね、(119番)森林の石、あれはなんですか。

(委員)

ビュースポットとしては中々押しづらい所があつて。

(委員)

押しづらいですね。どこから見ると。

(委員)

そう、どこから見るのというのと、どちらかという景観要素としてあれは面白いね、というのはあるんだけど、ビュースポットという、視点場という意味からすると、本当にここなの、という気はしますね。

(委員)

これ、すみません、まったく何かわからなかったんですけど、アート作品ですか。

(委員)

一応アートです。瀬戸内芸術祭の時の流れの地元の有志が。

(委員)

ちょっとちがう表示の仕方(視点)かと思いますね。

(委員)

アート作品ですね。あとは**6**点台だから落としていいんちゃうという気が。一案です。それよりはどこか下のやつを上げた方が。

つまり、**18**案既に選んでいますから、あとマックスで**12**案。

(委員)

人のは言いにくいので、せっかくなので自分のやつだけ応援演説させていただきます。一つ目は**43**番の「中之島公園から見る大阪市中央公会堂と高層ビル群」なんですけれども、中之島公園から中央公会堂を見るというのは僕もいつも見ていたんですけど、実はあの後ろに中之島の最近の超高層ビル群がダーッと繋がって見えるというのに気づいていまして、結構はっとさせられて、水都大阪の**100**年を眺めているという、そういう風景なのかなと。中之島の中央公会堂ができてから、今の中之島の再開発が起こっているところまで、ずっと並んで見えるという。本当はもっと寄った方が良いと思うんですけど、こういう風に見ると実はすごくいいビュースポットに実はなっているんじゃないかと思って選びました。それから次が、これ(**27**番)なんですけど、ハルカスを僕はてんしばから見るのをやめて、こっちにしてみました。これ、写真がすごくまずいと思うんですけど、実は阪堺線が緑の芝生の綺麗な軌道に変わって、再整備が終わってまして、続きの芝生越しにハルカスを、できればタテの角度で見ると、新しいビュースポットとして阪堺線の駅が機能しているんじゃないかと思います。

(委員)

これ(**27**番)は阪堺線の駅からですか。

(委員)

(天王寺駅前から)ひとつ行った「阿部野停留所」ですね。というので、電車が(芝生の上に)ない時に

見てみたいなど。

(事務局)

もうちょっと向こうが写って、電車も写り、芝生も写りと。

(委員)

そうですね。そういうアングルだとなお良かったかなと。

ハルカスも切れちゃっていて、写真はすごく下手だと思うんですけども、ビュースポットとしてはやっぱり新しい、せっかく阿倍野筋の整備も終わってですね、スポットとしては良いんじゃないかと思いました。それから、後は段々自信がなくなってくるわけですけども、これ(127番)も僕が選んだやつなんですけど、春の桜の絨毯の上に大阪城が見えてくるという。なんとなく、もちろん大川の桜というのは有名な景色なんですけれども、橋の上からいくつか選びたいなと思ったのがあってですね、八百八橋と呼ばれた大阪のビュースポットとして橋が効いているというのはやっぱり大事ななと思ったので入れてみました。それから、これ(51番)もそうなんですけど、これはどちらかというと、うめきた二期への期待を込めて今後大きく変わっていく風景でもあるので、そこに緑の公園ができて更に大阪の駅前が良くなっていけばいいなという思いを込めて。今このままが100%素晴らしいかということほとんど仮囲いの向こうが見えている状態なので、今選ばなくても良いという判断もあるかと思うんですけど、将来に向けては可能性のある景観、ビュースポットかなと思って選んだという感じです。

(委員)

うめきたってこれから整備されますからね。もう少し良い先があるんじゃないかという気がします。

(委員)

それはその通りだと思います。

(委員)

その辺重要なところでね、選んだ人が「いやまあ落ちてもいいよ」と言うんやったらスツと。選んだ人が「外してもらったら困る」って言われたらそれは中々下に落とせないよ。

(委員)

いや、そういうわけでは別に。どれを取って頂いても。

(委員)

ではちょっとだけ。(ホワイトボードの)一番右下(55番)ですかね。世界遺産が見える唯一の応募、という意味で、写真が必ずしもいいとは思いませんけど、そういう意味で僕は選んでいます。

(委員)

そうだね。迫力はない写真ですけども、ポイントとしては非常に重要なスポットですね。

(委員)

それだけと言えばそれだけですけれども（うまく見えるところがなかなかない）。残念ながらあの世界遺産の一つの課題になっていますからね。

(委員)

これはね、登録委員会を十何年間やっていた中で常に宮内庁の意見を聞いてびっくりしたんですけども。ここで礼拝するでしょ、それで礼拝する精神が重要なんだと。何も見なくていいと。だから見えないものを見ている。そういう意味ではポイントとしては重要ですよ。

(委員)

さっきの棚田問題と似たところがあって、仁徳天皇陵が入っていないですし、いきなり応神天皇陵だけ選ぶのかというのもなんとなく、ちょっと。

(委員)

そこを言われるとつらいねん。今回は応募作品の中から選ぶという大前提にしているから。そりゃ、一杯言いたいことはあるよ。これちょっと向こう行った方が良く、川の中行った方が良くとかね。言い出すとなぜあなたは応募しなかったといわれるから。

(委員)

もっと大阪の素敵な代表的なところがあるのにと思わないでもないですね。

(事務局)

今回はじめてやってみて、**2回3回**継続していこうと。今回**PR**も十分じゃなかったかなというところもありますので。建築士会さんや事務所協会さんにご協力いただきながら。一般の方々まで浸透できなかったなと思ってまして。そこら辺はこれを契機に**PR**しながら次回。

(委員)

だから、府民が選んだ大阪のビュースポットという風にしないとね。その価値づけが、審査委員会なしとったんやという話になるからね。しゃーないですね。つまり、応募者が選んだものから選ぶという大前提は変えられないと。

どうですか。どうしても上の、**5点**から上で、どうしても落とされた方が良くよというものがなければ。

(委員)

釣り堀の紅葉 (**63** 番) はちょっと意味が分からなかったけれども。何か、紅葉の名所ですか。

(委員)

そうですね。ちょっとどうなのかなと思いました。

(委員)

落としましょうか。7点。タイトルはなんでしたっけ。

(委員)

「釣り堀から見る紅葉」です。

(委員)

やめませんか？釣り堀は他に大阪府にいっぱいあるやん。

(委員)

(紅葉は) ここだけかと言われるとちょっと。

(委員)

ちなみに誰。7点だから、4位くらい？釣り堀の好きな人、これは釣り堀じゃなくて紅葉が良いんでしょう。これで選ぶ人おらんやろ。では、この3人では「ない」ということで。

(委員)

129番の夜景が。これはちょっと分からなかったです。写真を見る限りではそんなにすごいかないという気もして。実際見ていないからかもしれないですけども。

(委員)

河南町の、これね、google で見たら昼間の景色としては割といいですね。デートスポットで。夜景で出してきたから。

どうしましょう。僕が実は選んでいるんです。確か、大阪府全景を見下ろす、北の方と西の方と南の方で四カ所。南の方はこれしかない。落としてもいいですよ。こだわりません全く。だから夜景がいかんかったね。夜景と言われると、もうちょっといいのがあるだろうと。落としましょうか。

(委員)

この工場景観も対象としては良いと思うんですけども、場所がここで良いのかなと。

(委員)

それは確かに思うんですけども。こういうものも応募されたことを評価したいなど。

(委員)

テクノスケープみたいなものがほとんどないので。

(委員)



これは夜景がすごく似合う。

(委員)

どれですか。

(委員)

高石の工場地帯から見る製油所。

(委員)

製油所というタイトルもどうかなという気がするけれども。

(委員)

これそんなにいい？これ、高速道路から見たら、高石の工場地帯圧倒的だけれども、ここあまり大したことないよ。

高石市さんがやっておられる工場夜景ツアーはここ走ってます？どこを見せているのかな。昼見たらなんじゃこれ、という。夜だから見れる。阪南工場地域のシンボル。誰が選んだのかな。

(委員)

私が選びました。ただ、工場景に惹かれたというのが大きくて。ここが必ずしもいいというわけではない。

(委員)

ここに至って、取捨選択する場合に、ここがいいという話がちゃんとできないと。ちょっとやめておいた方が良くという気もする。次出てきたときにダブってしまうと、差し替えができなくなる。

(事務局、現地調査時に撮影した「工場夜景を説明する多言語看板」の写真をスライドで掲示)

(委員)

この写真(看板内の左の方の写真)ではないんですか。

(委員)

この写真みたいやね。左のところに塔が建っていて、入り口の門のところやね。ちょっと違うけどでも同じ方向やね。

(事務局)

写真の撮り方による違い。

(事務局)

門がありますよね。

(委員)

そうそう。同じ、左の塔が見えている。

(事務局)

写真の撮り方が少し下手で、右のライトが眩しすぎて、露出があまり適切ではなく、左のタワーの辺りが暗く映っている。

(委員)

ここの夜景の見どころは、海上からの夜景。(看板の) 右の方に(写真を)載せているでしょう。

(委員)

右の方が良いですね。

(委員)

こちらからの方が断然、迫力がありますね。

(委員)

海上からのビュースポットからというのが対象になるのかどうか。

(事務局)

こちらは、海上ではなく、近くにある堺市のスポットを紹介するもので、別の場所の写真です。

(委員)

高石じゃ無い訳ね。高石市さんが一緒に高石のイメージとして売り出してるからね。

(事務局)

選ばれるのであれば、写真はもう一度、取り直して。これくらいの写真は撮れるのではないかと。

(委員)

では、写真撮り直しを条件として選びますか。

下の方の **4** 点以下の分で、何か思い入れのあるものはありますか。南港のブリッジは、港湾局はぜひ入れてほしいとなるのでは。どうしても入れなければならないというものがなければ、(ホワイトボードの) 上の方の **10** 件くらいに留めておきますか。

(委員)

そうですね。

(委員)

では、4つの選定基準に照らして、次の10件を合格とさせていただきたいと思います。

最後に、選んだビュースポットを(地図に)黄色(のシール)で落としてもらっていますので、地域的なバランスについて少し意見をいただきたいと思います。事務局でも、事前に市町村さんと調整いただいている手前、バランスはとれていますか。

(事務局)

北摂地域、南河内地域、東大阪市、八尾市、泉州は元々少なかったのですがけれども、岸和田とか高石を入れていただいているので、大体バランス良く選んでいただいていると思います。高槻や枚方、茨木は元々少ないので、次回、地元市にも市民の方にアピールしてもらえるように働きかけていきたいと思っています。

(委員)

これを見ると、PRの少なかったところが如実に出てきますね。先ほどの冒頭の豊能町の棚田は入ってましたか。

(事務局)

入っています。

(委員)

入って28件ですか。南の方がやはり少ないですね。では、確認のために読み上げますか。事務局の方よりお願いします。

(事務局読み上げ)

(委員)

トコトコダンダンが入ってましたか。

(事務局)

入っていますね。

(委員)

先ほどの話で落選していませんでしたか。入っていましたか。

(事務局)

どうでしょうか。

(委員)

それを入れるのであれば、下の方でこっちの方が良いじゃないとか、議論してみまじょうか。大阪の代表的な、選定理由から言っ、誰もが知る世界に誇れる大阪の魅力ある景観、一般にあまり知られていない個性豊かで多彩な大阪の景観、今の時代性を表す景観、この3点で。上下で、落ちたものの中で、変わるようなものはないか。港大橋は、それなりに、見栄えが大きく、関東にはあまりないのでは。

(委員)

ああいう見え方をするのはあまりないと思います。

(委員)

土木景観としたら、どうでしょう。トコトコダンダン、コミュニティ性が評価されているのだと思う。作り方が、NPOが地元と意見を聞きながら、掃除なども地元の方がやっておられるなど、そういう風景が評価されるというのが、コミュニティ性が評価されるというのはわかるのだけれども、写真から見えない。僕は入れ替えるんだとしたら、トコトコダンダンと港大橋を入れ替えてもいいと思いますけど。〇〇先生はどう思いますか。

(委員)

入れ替えても問題ないと思います。

(委員)

ビュースポットという点からいっ、ね。それでは、入れ替えまじょうか。

(事務局作業)

(委員)

それでは、28点。第1回ビュースポット選定部会として、答申を申し上げたいと思います。

(事務局)

貴重なご意見をありがとうございました。本日いただいた意見を踏まえて、大阪府景観審議会の確認を得た上で候補案を確定し、事務局で最終確認した後に「第1回ビュースポットおおさか」の最終決定をしたいと思っ、ます。また、引き続き情報発信に向けて検討して参りますのでよろしくお願ひいたします。本日は、誠にありがとうございました。